令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立三津屋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	淀川区
学　校　名	大阪市立三津屋小学校
学 校 長 名	松森　佳子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立三津屋小学校では、第６学年　94名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立三津屋小学校の結果概要

大阪市立三津屋小学校の平均正答率は、国語・算数ともに、全国平均および大阪市平均を下回る結果となった。
【国語科】学校の平均正答率は57%で、全国平均（60.9%）を3.9ポイント、大阪市平均（59%）を2ポイント下回った。
【算数科】学校の平均正答率は54%で、全国平均（56.4%）を2.4ポイント、大阪市平均（56%）を2ポイント下回った。
教科ごとの無解答率については、国語科では全国平均・大阪市平均を下回った。算数科では全国平均を下回ったものの、大阪市平均を上回る結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語科】内容別に見ると、「読むこと」の平均正答率は68.6%で、全国平均（65.9%）および大阪市平均（66%）を上回った。また、「情報の扱い方に関する事項」についても、学校の平均正答率は53.7%で、全国平均（52.3%）および大阪市平均（53.2%）を上回った。一方、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は59%で、全国平均（66.8%）を7.8ポイント下回った。「話すこと・聞くこと」や「書くこと」についても、全国平均および大阪市平均を下回っており、課題が見られた。
【算数科】領域別に見ると、「測定」の平均正答率は79.8%、「データの活用」は49.5%で、いずれも全国平均および大阪市平均を上回った。一方、「数と計算」「変化と関係」は全国平均を下回り、特に「図形」は49.5%で、全国平均（55.3%）を5.8ポイント、大阪市平均（54.5%）を5ポイント下回った。領域によって正答率に差が見られることから、課題のある領域を中心に、指導の充実を図る必要がある。
今後は、国語の言葉の知識や話す・聞く力、算数の図形領域を重点課題とし、児童のつまずきに応じた指導や授業改善を進め、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る必要がある。

質問調査より

児童質問紙の結果から、本校の児童は、自分のよさを認め、将来の目標をもつ傾向が見られる。「自分にはよいところがある」と回答した児童は88.6%（全国85.6%）、「将来の夢や目標をもっている」は85.5%（全国81.8%）であり、いずれも全国平均を上回った。また、「困りごとや不安を先生などに相談できる」は83.3%（全国70.6%）で、相談しやすい環境がうかがえる。学習面では、「自分で学び方を考え工夫する」が85.5%（全国79.4%）、「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む」が82.3%（全国77.6%）と、主体的に学習する姿勢が見られる。一方、算数の勉強が好きと回答した児童は58.3%（全国55.2%（全国57.6%）、得意と回答した児童は53.2%（全国60.1%）で、全国平均を下回った。今後は、児童の自己肯定感や主体性を生かしながら、算数への興味・関心や自信を高める授業改善に取り組むとともに、家庭学習の習慣化を図り、確かな学力の定着につなげていく必要がある。

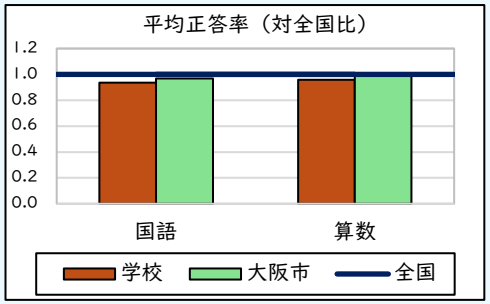
今後の取組（アクションプラン）

今後は、各教科・領域の調査結果を踏まえ、児童のつまずきや理解の状況を把握し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。国語科では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「話すこと・聞くこと」に重点を置き、語彙を豊かにするとともに、自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える活動を充実させる。算数科では、課題が見られた「図形」を中心に、具体物や図、ICT機器などを活用し、図形の性質や構成について理解を深める授業づくりを進める。家庭学習の習慣化を進めるとともに、スクールアドバイザーの助言を生かした授業改善に取り組み、児童の学習意欲の向上と学力の定着につなげていく。児童質問紙の結果から、三津屋小学校の児童は、自己肯定感や将来への目標意識が高く、自分で学び方を工夫したり、課題解決に主体的に取り組んだりする傾向が見られる。また、教師に相談できると回答した児童の割合も高く、児童を支える環境に一定の強みがある。一方、学校生活の楽しさや幸福感、算数への興味・自信、家庭学習の習慣化については、今後も改善を図る必要がある。特に、算数では授業内容の理解と、好き・得意という意識との間に差が見られることから、児童が達成感を味わい、自信をもって学習に取り組める授業改善が重要である。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

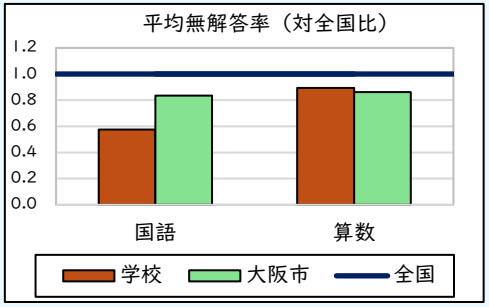
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	57	54
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



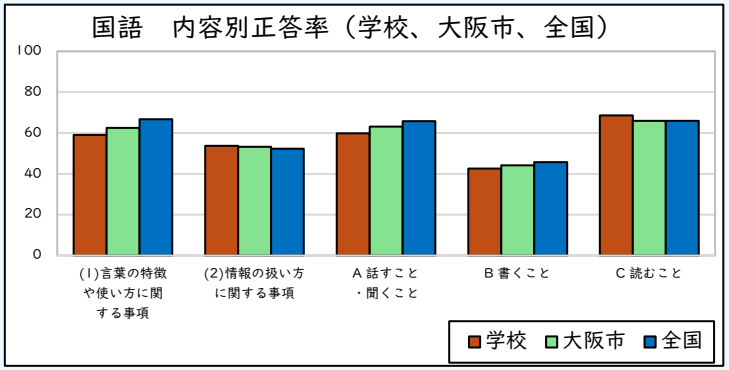
平均無解答率（%）

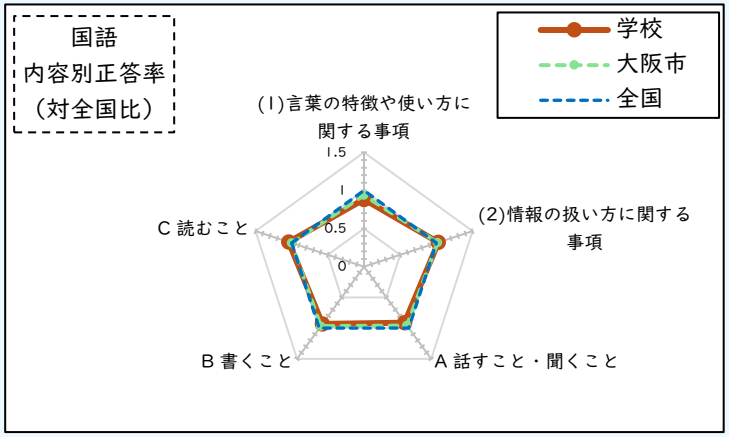
	国語	算数
学校	2.0	2.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

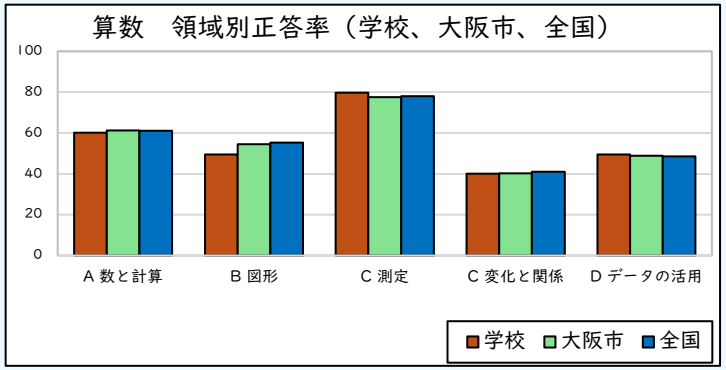
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	59.0	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	53.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	59.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	42.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	68.6	66.0	65.9

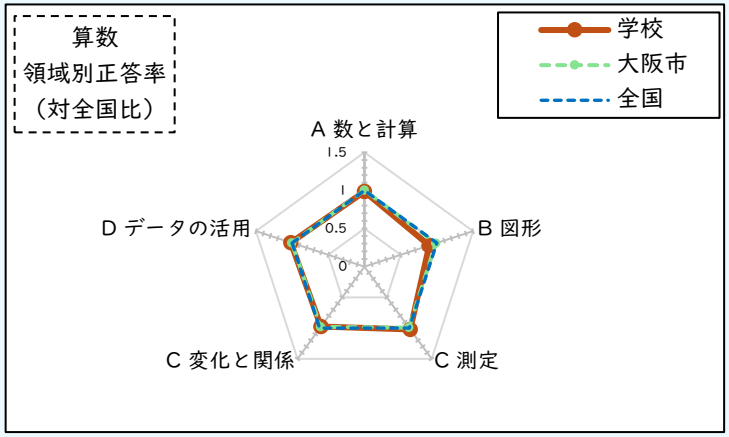




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.2	61.2	61.1
B 図形	4	49.5	54.5	55.3
C 測定	1	79.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	40.1	40.3	41.1
D データの活用	4	49.5	48.8	48.6

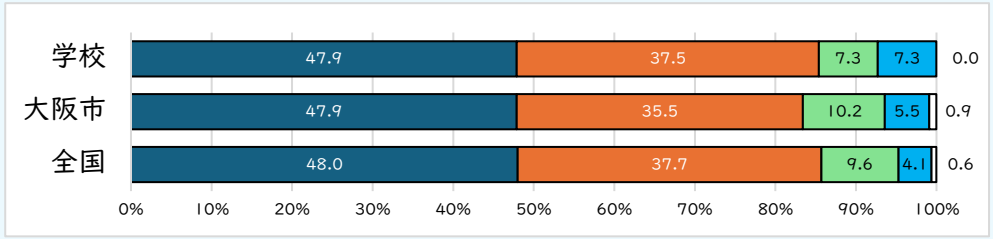




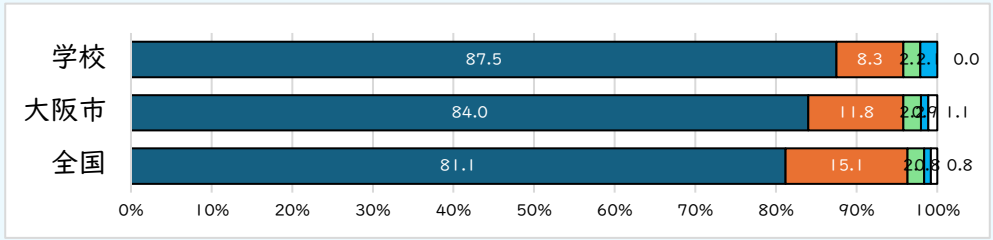
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

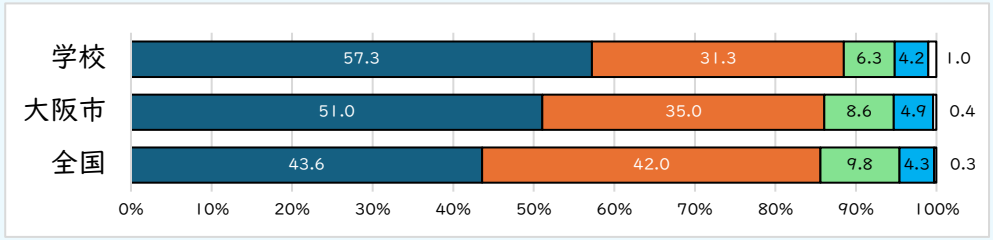
質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（12）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか
（10）	将来の夢や目標を持っていますか
（21）	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



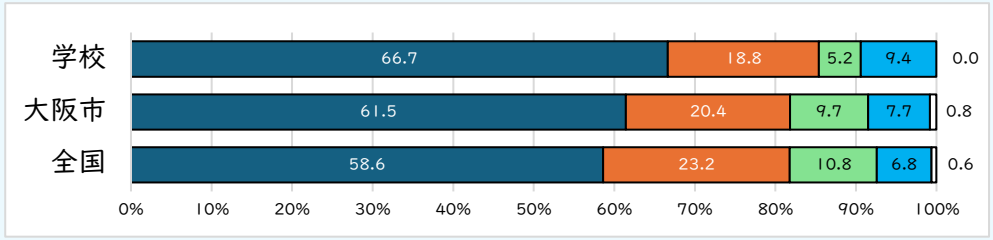
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



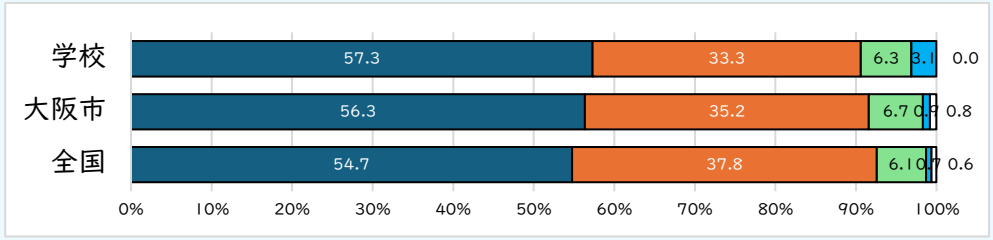
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

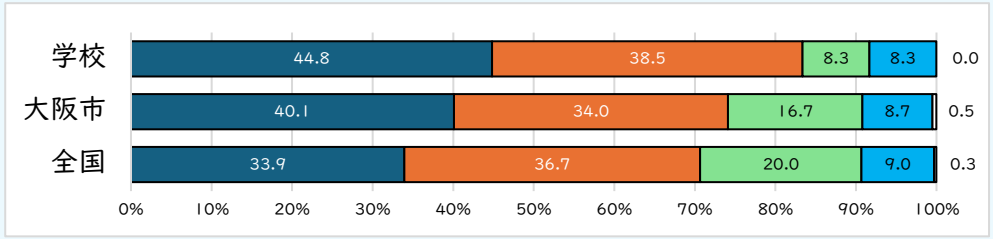


1 よくある
2 ときどきある
3 あまりない
4 全くない

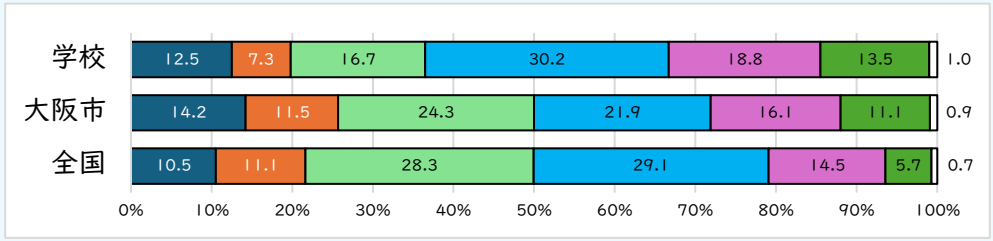
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

質問番号	質問事項
（１３）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
（２３）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（２２）	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
（３９）	５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

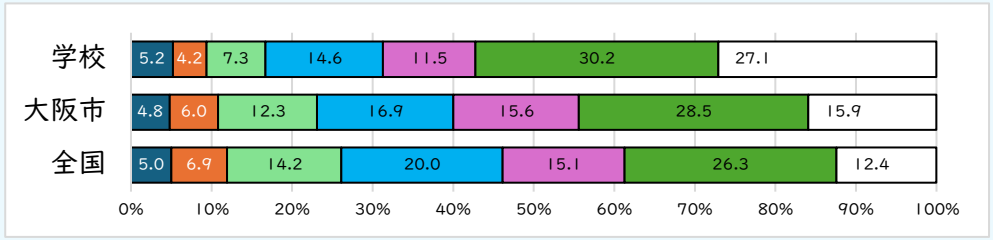
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。



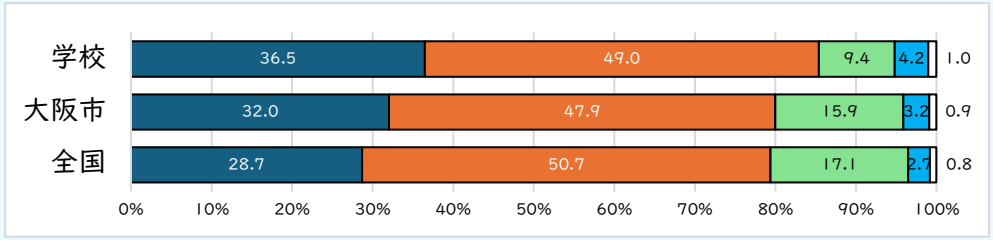
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



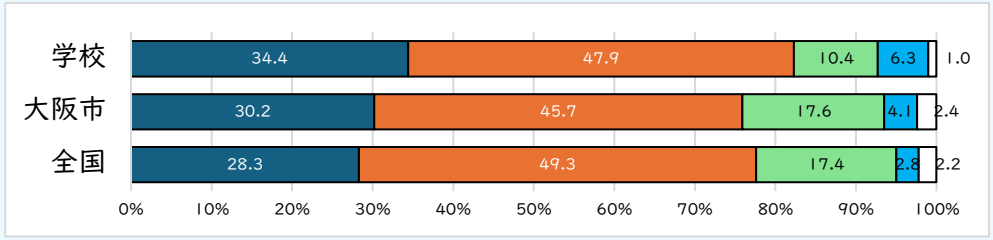
1 ３時間以上
2 ２時間以上、３時間より少ない
3 １時間以上、２時間より少ない
4 ３０分以上、１時間より少ない
5 ３０分より少ない
6 全くしない



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない



1 できている
2 どちらかといえば、できている
3 どちらかといえば、できていない
4 できていない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（５２）	国語の勉強は得意ですか
（５３）	国語の勉強は好きですか
（６０）	算数の勉強は得意ですか
（６１）	算数の勉強は好きですか

